

国保みやざき

vol.1

2018年6月号

CONTENTS

02 クローズアップ

- ・平成30年度国保連の組織体制
- ・新規採用職員紹介

04 NEWS & TOPICS

- ・平成30年度広報委員・広報調査研究委員が決定
- ・日南市・川南町が先進事例を発表

06 情報ひろば

- ・平成30年度「オレンジタイム」年間放送計画
- ・第三者行為求償事務の取組を強化
- ・後期高齢者医療広域連合通信
- ・こくほ随想

11 データコーナー

- ・医療費データ
- ・介護保険だより

17 国保連行事予定



宮崎県国民健康保険イメージキャラクター

「オレンジくん」

平成 30 年度国保連の組織体制

課	係	事務分掌
総務企画課	総務係	理事会・通常総会等の会議に関することや、職員の服務、給与、福利厚生等に関するものを行う。
	企画・事業係	国保連事業の企画立案、経営計画、広報、トップセミナーに関するものを行う。
	出納係	各会計の歳入歳出決算に関することや、財産および備品の管理に関するものを行う。
審査第 1 課	審査委員会係	審査委員会の運営に関することや、医療機関申出再審査に関するものを行う。
	高額審査係	高額審査事務処理に関することや、特別審査委員会の事務処理に関するものを行う。
	県央地区審査係	県央地区の医科レセプト審査事務処理に関することや、後期請求支払システムに関するものを行う。
	県南地区審査係	県南地区の医科レセプト審査事務処理に関することや、国保請求支払システムに関するものを行う。
	県北地区審査係	県北地区の医科レセプト審査事務処理に関することや、医科紙レセプトに関するものを行う。
審査第 2 課	歯科・過誤支払係	審査委員会（歯科部会）、歯科レセプト審査事務処理に関することや、診療報酬の支払決定に関するものを行う。
	療養費・調剤審査係	療養費全般に関することや、調剤レセプト審査事務処理に関するものを行う。
保険者支援課	求償係	第三者行為求償事務共同事業に関するものを行う。
	保険者支援係	保険者努力支援制度の取組強化、国民健康保険税収納率向上支援事業に関することや、レセプト点検事務共同事業に関するものを行う。
介護・健康推進課	介護福祉係	介護給付費等の審査・支払、障害者総合支援および障害児総合支援給付費の審査・支払に関するものを行う。
	苦情相談係	介護サービスの質の向上を図ることを目的として、介護サービス利用者・家族からの苦情・相談に関するものを行う。
	健康推進係	特定健診・特定保健指導および糖尿病性腎症重症化予防の支援に関することや、保険者協議会および国保診療施設協議会に関するものを行う。
新国保対策課	制度対策係	共同電算処理事業、データバンク共同事業に関することや、国保事務処理標準システムに関するものを行う。

新規採用職員紹介

平成 30 年度の国保連新規採用職員を紹介します。



●**星崎 菜々子（ほしざき ななこ）【総務企画課 企画・事業係】**（写真左）
国保には多くの制度があり、自分自身の知識のなさを日々痛感しています。1日でも早く一人前となり、国保連や保険者の皆さんのお役に立てるよう、日々精進したいと思います。

●**宮園 拓自（みやその たくじ）【審査第1課 高額審査係】**（写真中央）
チャレンジ精神で積極的に物事に取り組み、仕事上の処理能力を高めていくことで、日々の仕事の質や量を高めたいと思います。

●**田中 宏亮（たなか ひろたか）【審査第1課 審査委員会係】**（写真右）
こんにちは。4月から新しい職場になり、慣れない業務に日々悪戦苦闘しています。本年度は国保制度の改革が行われたので、私自身も国保連の新たな風となれるよう頑張ります。

一緒に頑張りましょう！



宮崎県国民健康保険イメージキャラクター

「オレンジくん」

平成 30 年度広報委員・広報調査研究委員が決定

5月16日(水)に第1回広報調査研究委員会、5月29日(火)に第1回広報委員会を開催しました。

両委員会は、本会の広報活動に関する取組内容等を協議するために設置。広報委員会では、広報事業全般の企画・立案、広報

調査研究委員会では、事業の企画・立案にかかる調査研究や、「オレンジタイム」の詳細制作を行います。

今後、委員の皆さんと連携し、広報活動の充実強化に努めていきます。

● 広報委員



	役職名	氏名
宮崎市	国保年金課長	熊野 郁夫 (委員長)
綾町	福祉保健課長	森園 由美子 (副委員長)
都城市	保険年金課長	渋谷 吉春
延岡市	国民健康保険課長	染矢 俊二
日南市	市民課長	隈本 啓治
高鍋町	健康保険課長	宮越 信義
椎葉村	福祉保健課長	那須 秀徳
高千穂町	福祉保険課長	有藤 寿満
医師国保組合	事務長心得	杉田 秀博

● 広報調査研究委員



	役職名	氏名
高千穂町	福祉保険課 係長	興梠 恵一 (委員長)
宮崎市	国保年金課 主任主事	木村 なつみ (副委員長)
都城市	保険年金課 主事	田中 創平
延岡市	国民健康保険課 主事	坂本 大地
日南市	市民課 主査	金丸 勝次
綾町	福祉保健課 主査	小八重 志保
高鍋町	健康保険課 係長	矢野 由香
椎葉村	福祉保健課 主事	山中 惇司
歯科医師国保組合	国保課 主事	黒木 昭博

日南市・川南町が先進事例を発表

- 九州都市国民健康保険研究協議会
- 九州地方町村（組合）国保事務担当者研修会

九州各県の市町村や国保組合等の関係者が一堂に会し、国保を取り巻く現状や課題に関する講演のほか、市町村の取組事例の発表等が行われました。

5月18日（金）に熊本市で開催された九州都市国民健康保険研究協議会では、日南市が研究発表を実施。同市健康増進課の山下絹代さんが、「日南市健康増進課の保健活動～効率的・効果的な保健指導の体制づくり～」と題し、教室型の保健指導ではなく、自治会等との連携による家庭訪問中心の保健指導を実施したことで、特定保健指導実施率の向上につながったことなどを発表しました。



また、6月1日（金）に福岡市で開催された九州地方町村（組合）国保事務担当者研修会では、川南町が事例発表を実施。同町税務課の小泉翼さんが「川南町の取り組みについて～検索により得られるもの～」と題し、本会の収納率向上実地研修支援事業を活用し、国保税徴収アドバイザーの支援を受けて、滞納者所有の自動車のタイヤロックや、検索を実施したことで収納率向上につながったことなどを発表しました。

そのほか、厚生労働省および国民健康保険中央会が、都道府県単位化の現状や、保健医療分野におけるICT活用の動向等に関する講演を行いました。



平成 30 年度「オレンジタイム」年間放送計画

「オレンジタイム」は、被保険者の皆さんを対象に、テレビやラジオを活用して、国保制度を分かりやすくお伝えする広報番組です。

●テレビによる広報（30 秒間：番組内およびスポット CM 枠）

テレビ宮崎（UMK） 火曜日 17：53～19：00「UMK スーパーニュース」

宮崎放送（MRT） 水曜日 19：57～20：56「わけもん！！」

金曜日 18：15～18：54「mrt ニュース Next」（平成 30 年 9 月 30 日まで）

●ラジオによる広報（20 秒間：番組内およびスポット CM 枠）

宮崎放送（MRT） 火曜日 13：00～16：20「GOGOワイド」

木曜日 10：55～11：00「ニュース&天気予報」

エフエム宮崎 金曜日 11：30～13：55「Bunny のナツウタ～昭和歌謡をあなたに～」

放送月	シリーズ	企画内容
4 月	国保のしくみ	国保の加入・脱退
	納税促進	保険税はきちんと納めましょう
	特定健診	特定健診を受けましょう
	国保のしくみ	国保制度改革
5 月	納税促進	保険税はきちんと納めましょう
	特定健診	特定健診を受けましょう
6 月	特定健診	治療中の方の特定健診
	健康づくり	歯周病と病気の関係
7 月	国保のしくみ	限度額適用認定証
	特定健診	特定保健指導
8 月	健康づくり	歩くことの大切さ
	国保のしくみ	適正受診
9 月	国保のしくみ	届出（マイナンバー）
	国保のしくみ	第三者行為
	健康づくり	食事（野菜 1 日 350 g を目指す）
10 月	特定健診	特定健診受診率
	国保のしくみ	★保険税の軽減制度について
	国保のしくみ	かかりつけ薬局

放送月	シリーズ	企画内容
11 月	健康づくり	県内のむし歯の現状
	特定健診	★特定保健指導
	国保のしくみ	インフルエンザ
12 月	国保のしくみ	医療費控除（セルフメディケーション税制）
	納税促進	納税相談
	国保のしくみ	医療費通知
1 月	国保のしくみ	★資格証明書と短期被保険者証
	国保のしくみ	高額療養費
	国保のしくみ	保険税と医療費の関係
2 月	国保のしくみ	★ジェネリック医薬品
	健康づくり	心の健康を保つ
	納税促進	所得の申告
3 月	国保のしくみ	★国保の届出（資格喪失時の手続き）
	国保のしくみ	★国保とは
	納税促進	所得の申告

※企画内容の「★」について

「★」は平成 30 年度制作分で、アニメ形式で放送予定のもの。「★」以外は、平成 27 年～29 年制作分の再放送で、当該年度制作分は、市町村職員の皆さんが出演。

※放送計画は、変更となる場合があります。

第三者行為求償事務の取組を強化

医療費適正化対策のさらなる推進と保険者事務の支援を目的に、第三者行為の疑いがあるレセプト抽出の取組を強化し、保険者の皆さんへの情報提供を拡充します。

●経緯

第三者行為求償疑いレセプト抽出の取組は、国保連が定めたレセプト点検事務共同事業実施要綱に基づいて、以前から保険者への情報提供を行っていました。

そのような中、平成 29 年 12 月に策定された宮崎県国民健康保険運営方針では、第三者行為求償事務の取組強化を図るため、市町村の役割として「レセプト点検による第三者行為の疑いレセプトの抽出」および「被保険者への照会」を実施することが示されたところです。

●拡充する情報提供の内容

今月、レセプト点検事務共同事業を委託している 22 の保険者に対し、保険者が行う点検業務による発見漏れ事例を抽出するため、平成 29 年診療分のレセプトから、以下の方法で抽出し、情報提供を行いました。

①外傷性の傷病名等を機械的に抽出[※]

※抽出対象の傷病名

多発性肋骨骨折／肋骨骨折／鎖骨骨折／大腿骨骨折／外傷性頸椎症／外傷性頸部症候群／頸部捻挫／外傷性くも膜下出血／外傷性脳（内）出血／外傷性血胸／全身打撲／頸椎損傷／犬咬創（飼い犬によることが明らかな場合を除く）

② 審査業務経験者の目視点検により、症状詳記や摘要欄のコメントから抽出

●保険者の皆さんへのお願い

【22 の保険者の皆さん】

被保険者への確認作業は、平成 30 年度保険者努力支援制度の評価指標となっています。被保険者ごとの診療状況等が記載されている「第三者行為求償疑いレセプト一覧表」（国保連様式）を活用し、被保険者への照会を行っていただきますようお願いいたします。

【全保険者の皆さん】

今後、本取組をより一層充実させるため、国保連において情報提供（対象傷病名や抽出頻度、対象期間等）の在り方を検討することとしています。本取組に関する感想や意見がありましたら、電話またはメール等でお寄せください。



宮崎県国民健康保険

イメージキャラクター

「オレンジくん」

お気軽に
お問い合わせください。

お問い合わせ先 保険者支援課 保険者支援係

TEL 0985-25-5083 / FAX 0985-31-4388

E-mail: sien@kokuhooren-miyazaki.or.jp

後期高齢者医療広域連合通信

8月1日から、被保険者証が切り替わります(毎年8月切替)

開いたとき(内側)

ジェネリック医薬品希望カード

ジェネリック希望カードがついています
希望しない方は切り取ってご使用ください

色の違う被保険者証が、7月末までにご本人あてに届きます

平成30年8月から高額療養費の上限が変わります

高額療養費制度とは、ひと月に医療機関に支払った額が高額になる場合に、その上限額を定める制度です。

平成30年8月から、適用区分が変わりました。右の図の赤い点線で囲まれた区分に該当する方は、新たに申請が必要です。ひと月にひとつの医療機関での支払が高額になる可能性がある方は、**市町村窓口にて、「限度額適用認定証」の交付を申請**してください。

※住民税非課税世帯に該当する方は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の対象になります。この証は、高額療養費の区分設定のほか、**入院時の食費減額適用**にも使用します。
食費減額の適用を受ける場合には**必ず、事前の申請が必要**ですのでご注意ください。

適用区分	外来(個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
III 課税所得 690万円以上の方	252,600円 +(医療費-842,000円)×1% <多数回 140,100円>	
II 課税所得 380万円以上の方	167,400円 +(医療費-558,000円)×1% <多数回 93,000円>	
I 課税所得 145万円以上の方	80,100円 +(医療費-267,000円)×1% <多数回 44,400円>	
課税所得 145万円未満の方	18,000円 年間上限 144,000円	57,600円 <多数回44,400円>
II 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
I 住民税非課税世帯		15,000円

平成30年度の保険料計算について

後期高齢者医療制度では、対象となる被保険者の一人ひとりが保険料を納めることになります。平成30・31年度の保険料率については平成28・29年度のまま据え置きとなりました。

保険料は、「均等割額」と「所得割額」を合計して、個人単位で計算されます。

保険料 = 均等割額 48,400円 + 所得割額 (前年中の所得-33万円) × 9.08%

均等割額の軽減措置	軽減割合	軽減基準
	9割	8.5割軽減に該当する世帯のうち、世帯の被保険者全員が年金収入80万円以下かつ、その他の所得がない世帯
	8.5割	総所得金額等の合計が基礎控除額33万円を超えない世帯
	5割	総所得金額等の合計が【基礎控除額33万円+27.5万×被保険者数】を超えない世帯
	2割	総所得金額等の合計が【基礎控除額33万円+50万×被保険者数】を超えない世帯

お問い合わせは 宮崎県後期高齢者医療広域連合 Tel.0985-62-0921
または、お住まいの市町村後期高齢者担当窓口まで

こくほ随想「国保の保健事業と保険者努力支援制度」

合同会社 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明

異動してきた市区町村保険者の担当者は、特定健康診査など保健事業の実施状況について、全国における位置や県内での位置を知り愕然とする場合がある。特定健康診査の受診率は市区町村や県比較で大きな差がみられる。なぜこんなに大きな差があるのだろうか。

保健事業（特定健康診査など）が医療保険者である市区町村に義務付けられる前は、老人保健事業として実施されていた。老人保健事業は詳細な実施要項が国で定められていた。当初、比較的簡素な健（検）診を中心とする仕組みでスタートし、後に様々な保健事業が追加された。現在の市区町村保健センターも老人保健事業に伴って設置された。老人保健事業の特徴は、国と県が3分の2、市区町村が3分の1の費用を負担して行うこと、被用者保険の保健事業の対象者ではない住民すべてを対象とすることであった。

老人保健事業は国民すべてに健（検）診の機会を提供する画期的な制度であったが、その後期には項目の拡大により業務の負担感が大きく増し、健（検）診など費用の掛かる保健事業に力を入れない自治体が多くみられた。国の方針が一定せず、揺り戻しを警戒して新規事業は実施を遅らせることが良い知恵だと考えられ、列の最後に位置することが最も効率的だと受け止められた。また、受診率が上がると自治体の財政負担が増えるため、受診率は低いほうが良いと考える市区町村もみられた。現在の受診率の地域差には、こうした取組の歴史が反映されている。現在受診率の高い保険

者の多くは以前から受診率が高く、逆も真であることが多い。

しかし、平成20年度からは保険者の保健事業が導入され、受診率向上が大きな課題として取り上げられるようになった。平成30年度から保険者努力支援制度の本格運用が行われ、保険者の行う保健事業の質と量が評価され、それが補助金に反映される時代に突入する。今までは「どうせ無理」であった健診受診率の向上について、議会などから指摘を受ける機会が増え、市区町村を挙げた対策実施が待たなしの時代になってきた。それでも受診率は行政の行う保健事業に対する加入者からの総合評価であり、受診率を簡単に上げることは困難なことが分かってきた。

この中で特定健康診査の受診率は最も大きな課題である。受診率は格差も大きい、県単位で見ると、より特徴的である。全体的に受診率が低い県には、飛び抜けて高い自治体があることはまれである。受診率向上の取組は、近隣の自治体の取組を参考にして行う場合が多かったようであり、受診率の低い県では逆にこれが災いして、優良な取組の実態を把握する機会がないのが実情である。保険者努力支援制度は全国の市区町村間の競争であり、受診率向上の具体的な手法を身に着けるには、視野を広くとり、県下の優良な事例を分析するだけではなく、受診率向上に実績を上げている他県の保険者の情報を収集して分析するべきである。国保連合会や県はこうした取組を積極的に行って、保険者の実績向上を支援していただきたい。

【次ページに続く】

データヘルス計画も、大部分の市区町村では平成 30 年度から新しい計画に移行する。第 1 期データヘルス計画では、データの分析など計画書そのものの作成に重点が置かれていた。詳細に記述することで、逆に活動に制限がおこると懸念する保険者が多くみられた。第 2 期計画では、保健事業の目標設定値をより現実的なものにするともに、必達目標として実施計画を詳細に作り上げる

ことが求められている。計画の目標値と実際の施策との整合性が問われるようになった。

今後はデータヘルス計画に記載された目標値を達成するために、どんな事業をどのように改善し、実績を上げていくかが課題となっている。各保険者の積極的な取組とともに、支援に当たる関係者が支援方法の改善に取り組むことを期待したい。

(記事提供 社会保険出版社)

【プロフィール】

岡山 明

(おかやま あきら)



合同会社生活習慣病予防研究センター 代表

日本循環器病予防学会 理事

国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

岩手医科大学 非常勤講師

日本大学医学部兼任講師

生年月日 1955 年 8 月 24 日

【学 歴】

1978 年 東京大学教養学部基礎科学科卒業

1982 年 大阪大学医学部医学科卒業

【免許等】

1982 年 医師免許取得

【学 位】

1989 年 医学博士 (大阪大学)

【職 歴】

1983 年 大阪大学医学部 助手 (環境医学講座)

1989 年 滋賀医科大学医学部 講師 (保健管理学講座)

1994 年 滋賀医科大学医学部 助教授 (福祉保健医学)

1999 年 岩手医科大学 教授 (医学部衛生学公衆衛生学)

2004 年 国立循環器病センター 予防検診部長

2007 年 財団法人結核予防会 第一健康相談所長

2014 年 4 月 国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長

2014 年 5 月 生活習慣病予防研究センター 代表

2016 年 7 月 一般社団法人適塩・血圧対策推進協会 代表理事

【専門分野】

循環器疾患の要因、予防に関する研究。循環器疾患の地域差の推移に関する研究。循環器疾患発症登録による急性循環器疾患の発症・予後の把握に関する研究。生活習慣病の予防のための健康教育の方法論やその普及に関する研究。特に、高コレステロール血症、耐糖能異常、禁煙教育の効果的な実施方法の研究と普及に興味を持つ。

【受 賞】

2014 年 2 月 遠山椿吉記念 第 3 回 健康予防医療賞受賞

2014 年 6 月 第 29 回日本心臓財団予防賞

～「生活習慣病に対する総合的保健指導法の開発と普及」における実績より～

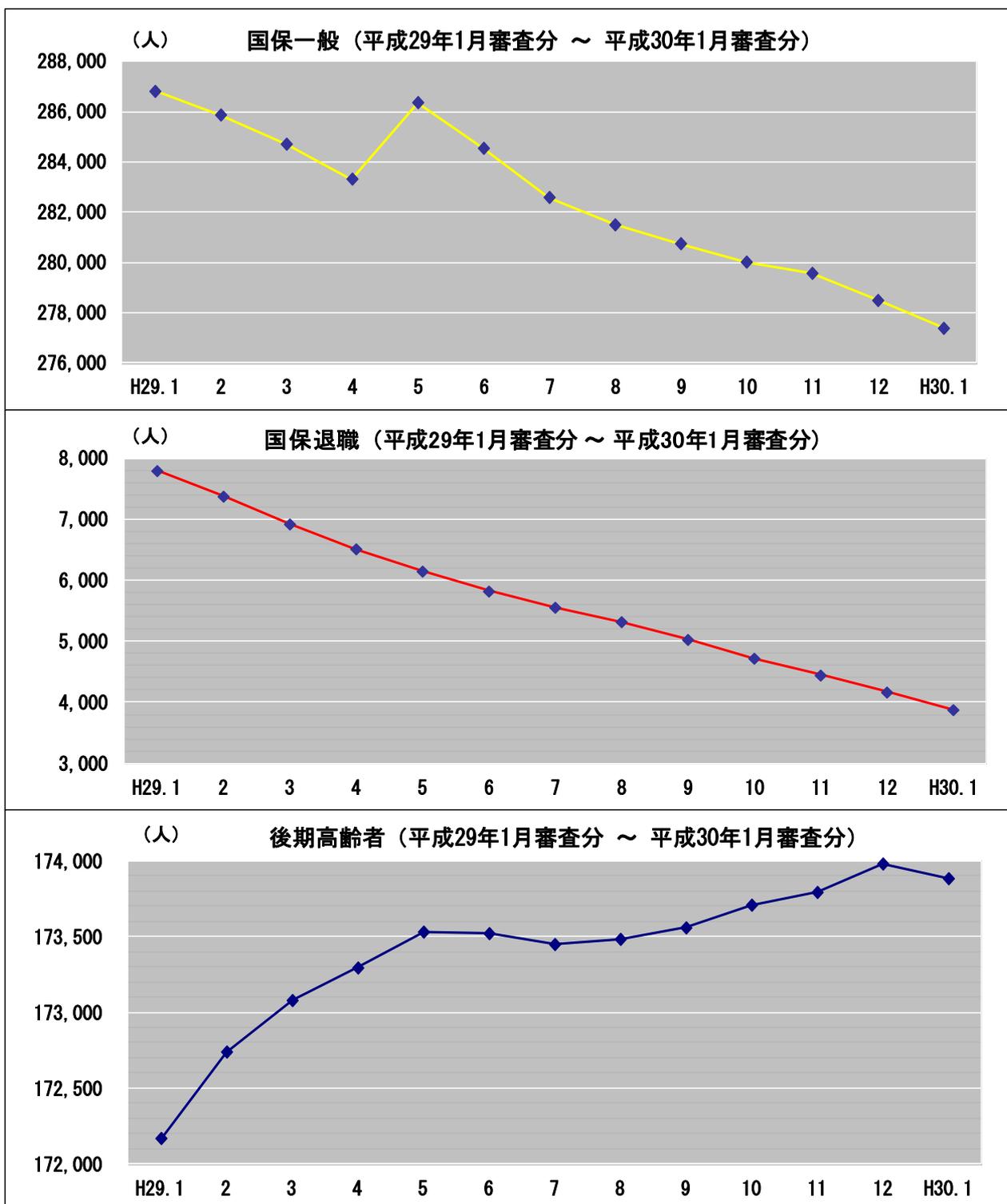
2014 年 12 月 日本総合健診医学会 H26 年度優秀論文賞

「特定保健指導の効果評価と対照設定の方法に関する研究」

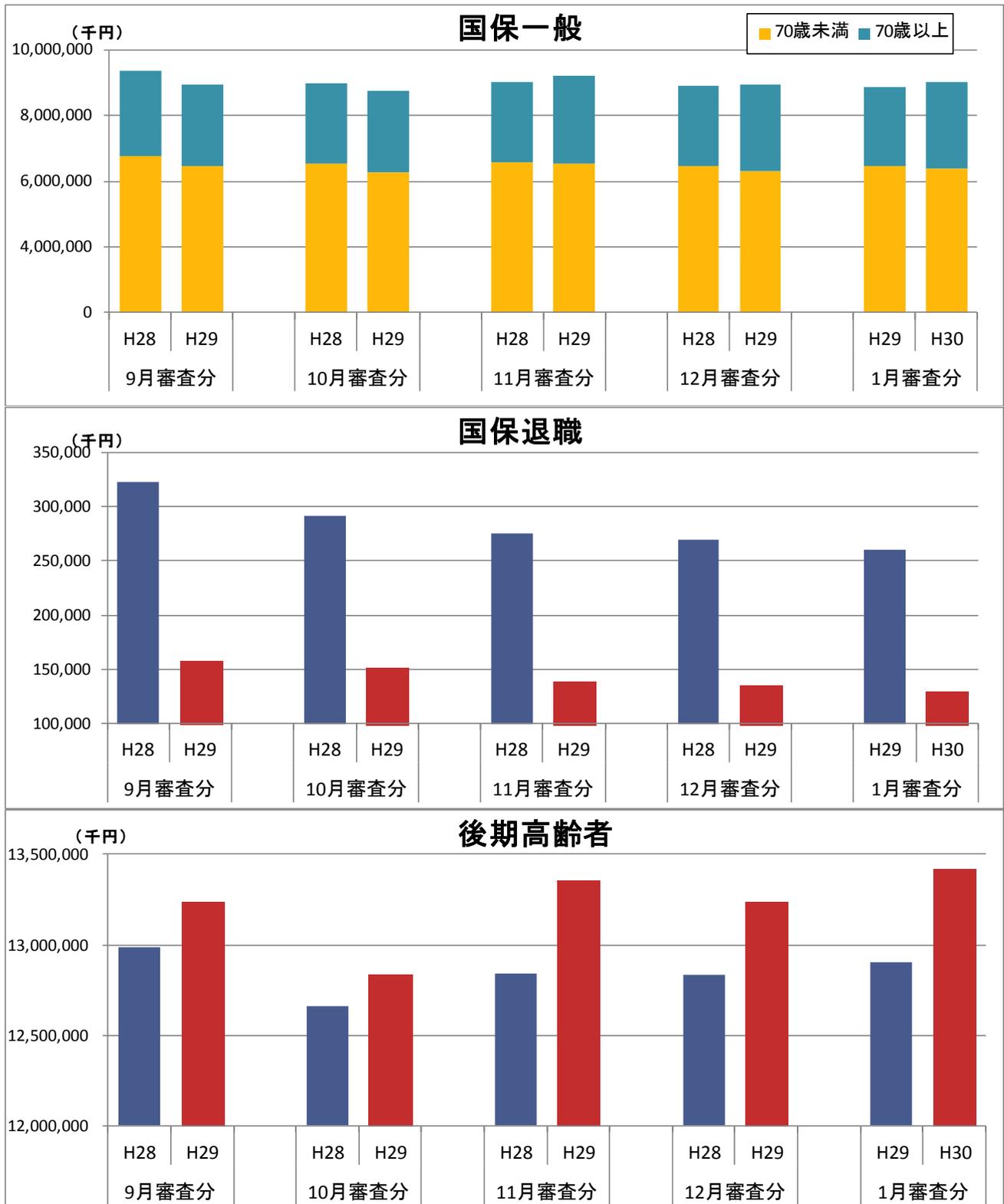
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

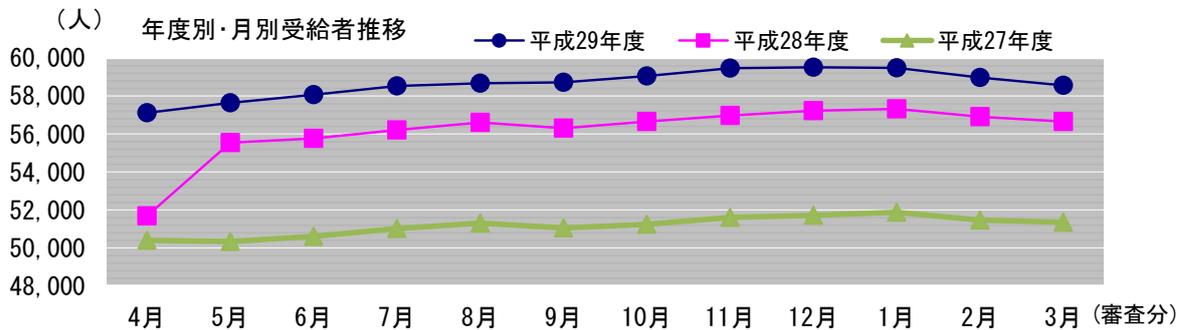
●被保険者の推移



● 月別医療費



介護保険だより



介護保険データ (平成 29 年 4 月審査分～平成 30 年 3 月審査分)

保険者名	確定件数状況			給付費状況			
	28/4月～29/3月	29/4月～30/3月	対前年度伸び率	28/4月～29/3月	29/4月～30/3月	対前年度伸び率	順位
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	
宮崎市	452,130	450,088	99.55	28,218,323,378	28,992,357,108	102.74	10
都城市	240,223	227,211	94.58	14,766,762,704	14,908,796,368	100.96	21
延岡市	190,363	183,599	96.45	12,019,422,870	12,173,737,224	101.28	18
日南市	83,178	78,843	94.79	5,632,400,204	5,810,198,103	103.16	6
小林市	72,656	69,709	95.94	5,047,232,998	5,128,000,468	101.60	15
日向市	67,590	62,020	91.76	4,515,894,071	4,574,300,452	101.29	17
串間市	22,710	22,748	100.17	2,194,041,774	2,218,814,761	101.13	19
西都市	41,844	41,388	98.91	3,302,626,749	3,372,704,954	102.12	13
えびの市	37,412	36,194	96.74	2,722,733,516	2,759,547,189	101.35	16
三股町	29,542	28,163	95.33	1,878,473,126	1,933,218,702	102.91	7
高原町	13,100	12,747	97.31	986,788,223	1,010,054,500	102.36	12
国富町	29,151	29,031	99.59	1,883,501,284	1,974,649,154	104.84	4
綾町	9,827	9,720	98.91	732,282,376	744,226,146	101.63	14
高鍋町	20,594	20,028	97.25	1,427,438,894	1,466,801,711	102.76	9
新富町	15,382	14,587	94.83	1,262,678,896	1,234,895,114	97.80	24
西米良村	1,528	1,643	107.53	157,109,206	168,565,060	107.29	1
木城町	6,921	6,991	101.01	538,665,896	572,686,624	106.32	3
川南町	17,819	17,098	95.95	1,328,974,001	1,343,698,337	101.11	20
都農町	12,891	12,586	97.63	938,671,410	961,042,228	102.38	11
門川町	20,553	19,445	94.61	1,252,186,319	1,288,016,788	102.86	8
諸塚村	2,881	2,359	81.88	192,786,246	193,964,870	100.61	22
椎葉村	5,302	4,427	83.50	320,267,480	333,807,499	104.23	5
高千穂町	15,190	14,903	98.11	1,071,469,660	1,142,856,536	106.66	2
日之影町	7,212	6,466	89.66	568,391,573	568,953,928	100.10	23
五ヶ瀬町	5,332	4,499	84.38	402,405,966	359,925,082	89.44	26
美郷町	10,623	8,909	83.87	958,247,334	904,049,405	94.34	25
市町村計	1,431,954	1,385,402	96.75	94,319,776,154	96,139,868,311	101.93	

* 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データにより、合併後集計の積算による。

* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費及び高額介護サービス費の合計。

* 前年度伸び率は、28年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 介護・健康推進課 介護福祉係
 TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
 E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保連行事予定（7月）

日	曜	行事	場所
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
13	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階会議室
17~19	火~木	トップセミナー	静岡県富士市、新潟県見附市ほか
20	金	国保審査委員会（~24日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 ライブラリー室
24	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
25	水	介護給付費審査委員会	国保連 東別館 1 階会議室
28	土	宮崎県国民健康保険診療施設連絡協議会	国保連 本館 4 階大会議室
		看護師研修会	
30	月	理事会・通常総会	国保連 本館 4 階大会議室

国保連では、保険者が実施する健康まつりや健康展等のイベントで活用できる機材等の貸出を行っています。ぜひ活用してください。

機材等の貸出予約は、**申し込み順**となっていますのでお早めに申し込んでください。

取扱貸出品

- 体組成計
- もの忘れ相談プログラム
- ライフコーダーEX（生活習慣記録機）
- 超音波骨量測定装置
- チェッカー君（足指力測定器）
- マイクロCOモニター（呼吸ガス分析装置）
- イーゼルパネルセット
- 健康パネル
- のぼり旗・のぼり用竿
- はっぴ
- ビデオ・DVD
- オレンジくん着ぐるみ
- ロールアップパナー

宮崎県国民健康保険団体連合会 総務企画課 企画・事業係 TEL 0985-25-5321

詳細は国保連ホームページをご覧ください。借用申込書もダウンロードできます。

国保みやざき VOL.1

平成 30 年 6 月 配信

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1

TEL 0985-25-5321

<http://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp>